



# わかば

流山市立北部中学校  
令和2年5月1日  
生徒数 530名

「目標を持つことがよき道を拓く」

校長 大館 昭彦

木々の緑が目まぶしい季節となりました。道端のツツジも色とりどりの花を咲かせています。5月、本来ならいろいろな学びのできるゴールデンウイークであり、新年度を迎えてから1ヶ月が経過し、1年生は正式入部がスタートしたり、2年生は新しい仲間たちと、3年生も更にクラスの仲間との絆を深めつつ、それぞれの学年が希望に燃え、各々の目標に向かって新たな一步を踏み出しているときです。しかし、今年は未知の敵との戦いで、未だ仲間たちと顔を合わせて活動することもできません。休校が続いておりますが、この状況がどれくらい続くのかは現段階ではわかりません。生徒たちの安全確保のためにも、今しばらくご理解をお願い致します。

さて、現在北部中では以下の取り組みをしております。4月に課題を配布させていただきましたが、休校が続く場合、5月7日を新たな教材配布日とさせていただきます。（詳細は、別記。メールでもお知らせします。）また、各担任が生徒たちの様子を確認するため、各家庭にお電話させていただいております。色々とお忙しい中で申し訳ございませんが、ご協力をお願い致します。

さて、生徒たちの生活のリズムはいかがでしょう。規則正しい生活ができていればいいのですが、ともすると長期の休みはリズムが乱れやすくなります。これだけ長い休みが続き、部活動もない状況ではなかなか難しいかも知れません。そんなときは、各自の目標を明確にするとういのではないのでしょうか。ここでいう目標とは、勿論「具体的な到達目標」ということです。大きすぎる目標は、なかなかその成果が見えづらく、頑張りきれないものですが、達成可能な具体的な目標を積み重ねていけば成果も確認しやすく、結果として大きな目標にたどり着くことができるものと考えます。

世阿弥は『花鏡』の中で、「初心忘るべからず」と書いています。「最初の気持ちを忘れずに」という意味だと捉えている生徒が多いと思いますが、正しくは、「失敗や苦勞して身につけた若い頃の未熟な芸」を指す言葉です。今は苦しいときですが、その中で身につけた知識や経験は、必ず今後生きてくると思います。

このあとも祝日が続きます。大変な中ですが、外出自粛の要請も続いております。具体的な目標についてご家族で話し合うよい機会と捉えていただいて、生徒たちが設定する自分の目標について、考え合う機会としていただけたらと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。

なお、集金日を含めました今後の活動予定につきましては、別紙にてご報告させていただきます。林間学園や修学旅行につきましても延期の方向で進めておりますが、今後の情勢により、実施の有無も含めまして検討することとしております。千葉県や流山市の方針が決定次第メールやホームページでお知らせして参ります。何卒ご理解いただき、ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

